

令和7年度第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立大谷場東小学校

1 日時・場所 [日時] 令和7年10月16日 (木) 10:20 ~ 11:35
[場所] 大会議室

2 出席 会長 会田 耕吉 (青少年育成大谷場東地区会長 など)
副会長 小池 友良 (南浦和東自治会長)
委員 池田 清美 (民生委員・児童委員 など)
加美 あゆみ (チャレンジスクール教室コーディネーター など)
春山 めぐみ (PTA会長)
八坂 和典 (大谷場中学校長)
渋谷 恒 (南浦和公民館長)
杉本 浩一 (元PTA会長)
大條 健二 (PTA顧問)
片岡 光子 (学校地域連携コーディネーター)
花房 秀史 (校長)
田中 辞 (教頭)

欠席 委員 杉橋 義春 (南浦和三丁目自治会長)
渡邊 明美 (交通指導員)
福戸 美帆 (前PTA会長)

3 次第

(1) 学校・児童の現状について

5年生 : 館岩自然の教室での体験を通じて、児童の優しさや声かけの姿勢が育まれた。登山では体力差があり、達成感にも個人差が見られた。
音楽フェスティバル : 児童の声を引き出す指導が行われている。
2年生 : 集団行動を学び、低学年からの経験がつながっている。
授業内容 (池田) : 自動車の作り方を題材に、児童の発想を活かし、社会とのつながりを意識した指導がされている。

(2) 学校評価について

(3) 「いじめ対策委員会」からの報告

筆跡鑑定は行わず、担任が把握できる範囲で確認。
問い合わせるのではなく、自発的な行動を促す方針。

4 熟議 「安心・安全な学校づくり～児童を事故や事件から守るために～」

○教頭より

- ・地域・保護者・学校で情報共有が重要。
- ・生活安全・交通安全・災害安全の観点から確認。

○PTA会長より

- ・工事などの危険を見つけた際は学校へ連絡。
- ・PTAから地域へメール配信で情報共有。
- ・下校ボランティアを学期に数回行っている。
マナーの徹底と無理のない範囲で安全見守りを実施。
- ・清掃ボランティアを募り、保護者（大人）の目で衛生環境の向上、不審者対策を行う。
- ・大掃除ボランティアは児童と活動できるため参加者が多い。

○地域連携コーディネーターより

- ・学校支援ボランティア（学習支援）を募集。
- ・PTA以外の保護者にも参加を促したい。
- ・ミシン指導などで事故防止に大人の目が必要。
- ・スクールサポートネットワークの保険を今年度から活用。
- ・スクリレアアプリで連絡を取り合う体制。
- ・他学年・他クラスへの参加も促進。
今後も協力をお願いしたい。

○学校の反省点と今後の取り組み

- ・地域や卒業生への声かけが不足。
- ・新たな協力者の発掘と情報発信（手紙・回覧板・メール）。
- ・参加者が「やってよかったです」と思える活動に。
- ・あいさつなども含め、安全に関する確認ができた。
- ・PTAの下校ボランティア
学校側も把握したいが、無理なく参加してもらう方針。
ひっそり付き添いたい保護者もいるため、形の固定は難しい。
低学年中心、自主的な見守り。
担任も把握していない場合あり。
制約を設けると参加が減るため、キャンペーン期間で促進。

5 事務連絡

- ・今後の行事予定について
- ・「学校評価アンケート」回答のお願い
- ・令和8年度始業式・終業式等の日程について
- ・音楽フェスティバルについて
名札を付けて入校していただきたい。

6 今後の方向性まとめ

(1) 地域・保護者との連携強化

地域や卒業生への声かけを積極的に行う。

保護者への情報発信を強化（スクリレ、メール、回覧板など）。

PTA以外の保護者にもボランティア参加を促す。

他学年・他クラスへの参加を広げ、学校全体の安全意識を高める。

(2) ボランティア活動の継続と拡充

下校ボランティアの活動を無理なく継続できるよう、柔軟な参加形態を維持。

キャンペーン期間を設けて参加を促進。

年度末に次年度の募集を行い、継続的な人材確保を図る。

(3) 安全対策の具体化と共有

工事や危険箇所の情報を学校と地域で共有し、迅速な対応を図る。

(4) 情報共有の仕組みづくり

PTAと学校間の情報共有をメール等で円滑に行う。

地域とも情報を共有できる仕組みを構築。

スクリレアアプリなどICTの活用を進める。

7 次回開催予定 [日時] 令和8年2月18日（水）

[場所] 大会議室